

晃石山行記 (419.1M)

- 【山行日】 2016年12月25(日)天候 晴れ
 【集合】 小山市役所駐車場8:00
 【費用】 マイカー :400 円
 【メンバー】 CL:島田SL:大町、清水(力)、清水(敬)、高木、前沢、横田、
 福村(明)、福村(都)、大島、飯田

【コースタイム】

小山市役所駐車場 8:00～大中寺駐車場 8:30/8:50～グミの木峠 9:25/9:35～
 ベンチ 9:50～晃石山 10:20/10:30～ベンチ(桜峠まで0,7k) 10:45/10:50～桜峠(東屋、ベンチあり)
 ～馬不入山 11:35/12:40～桜峠 13:00～清水寺 13:20～大中寺駐車場 14:00

今回は、みなさん普段からトレーニングで通いなれた山で、楽しく歩くことのできた一日でした。

大中寺に八時半の集合とゆっくり目の計画で、とても助かります。駐車場で軽く準備体操。寺の山門わきの道から登り始めます。グミの木峠への登山道は、普段あまり通りが少ないせいか、荒れ気味です。杉の大木が陽を遮り、寒くて薄暗いような気がするが、傾斜は緩く足慣らしには良いです。

グミの木峠に出ると明るくなりました。この時期になると強く吹く風もなく、杉林からの木漏れ日もがとても穏やかに差しています。ここで、ベンチで一息をいれます。

ここからは尾根歩き。いつもなら吹き付ける冷たい風を避けるつもりで、休まず晃石山の神社を目指すのですが、今日は、初春のような穏やかな陽気に誘われてゆっくり目に歩きます。3段の急坂を登りきり、少し歩くと旧大平町の街並みが眼下に開けました。ベンチでしばらく筑波山や八溝山系や古河、遊水地などを眺め、一息を入れます。ここで休んだせいか、足並みが軽やかになり、難なく晃石山山頂に着きます。もう少し空気が冷え込めば、日光や足尾などの山々がクッキリと見えるのですが、本日は霞みがかかって微かに見えるだけで少し残念です。

晃石山神社には降りず、直接、登山道に向かいます。急傾斜をゆっくり下ります。すぐに登山道になるの



ですが、足場が崩れやすいような気がして少しゆっくり目になりました。

登山道に出れば桜峠はすぐのような気がしましたが、それは若い頃よくトレーニングしたときの話で、いまは、小さなピークを5回上り下りするのがそれなりの負担に感じられました。この時期は、クヌギの枯葉が道を覆っているのによけい面倒に感じるのです。

清水寺に直に降りられる道のつけられた桜峠までの中間点は、以前、視界を遮った木々が切り倒されて、今ではごく眺めが良い。ここで一息を入れます。

何度か登り下りを繰り返し、やっと桜峠の長い階段になります。この階段の上り下りはトレーニングするにはもってこいだと思いますが、今日の陽だまりハイク気分です歩くには少し大変です。落ち葉が階段を覆い隠して足元に気を使って下りたせいか、余計に



そう感じました。

桜峠の東屋でも少し休めます。北側の杉が伐採され日当たり、眺めも良く、ベンチも多くあり休む場所としてとても良いのです。

馬不入山まであと2Km。尾根歩きが続くのですが、やはり何度か上り下りがあります。山の名前の由来は、奈良時代、佐野寄りに駅家があり、この道が当時は往還であったと地元伝わっています。その佐野川からこの山に登るのは馬にとって大変だったことが山の由来と、だいぶ以前に聞いたことがあります。

この日は風がなく暖かいので、馬不入山の眺望を楽しみ食事をとることになりました。ただ、雲で遠くが霞み、東京の高層ビル群や富士山などの山はよく見えませんでした。

昼食はいつものことながらご馳走がてんこ盛りです。おしんこ、クッキーから乾燥芋まで出てきて本当にお腹いっぱいになりました。コーヒーもいただき大満足です。おなかが重くなり、帰りが心配になるほどご馳走になりました。ご馳走をいっぱい頂き、元気回復です。帰りは「こわい」でなく「よいよい」になりました。

いったん桜峠に戻り、清水寺に下ります。ここからは林道を歩くものと思ったのですが、途中で通行止めの標識がありました。さいわい旧東山道跡と表示のある道を迂回して大中寺に戻りました。

とにかく風がなく静かで暖かい一日でした。一年を締めくくる絶好の山行でした。みなさんご苦労様でした。

記：飯田

